

令和8年度第1回広島県独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
運営協議会開催概要

- 1 開催日時 令和8年7月8日（水）10時00分～12時00分
- 2 開催場所 広島職業能力開発促進センター本館3階大教室
- 3 主な議題
 - (1) 令和7年度業務実績について
 - (2) 令和8年度業務計画及び進捗状況について

4 議事経過

資料に沿って事務局から説明が行われた後、意見交換が行われた。各委員からの主な意見等は以下のとおり。

(離職者訓練について)

- ・ リスキリングや女性活躍の推進、高齢求職者の増加といった状況等を踏まえ、それぞれのニーズに対応した訓練を実施していただきたい。
- ・ 引きこもりやニート等の働くことに不安や課題を抱える者を支援する機関とも連携し、働く意欲の喚起を含めた支援まで事業の領域を広げた上で、多様な受講者を受け入れ、就職につなげていく取組を推進していただきたい。
- ・ 人手不足の影響により定員充足率が目標を達成できていないが、ポリテクセンター自体が有する設備や技術的なノウハウは外部委託では代替できないため、引き続き充実させていただきたい。

(在職者訓練について)

- ・ 事業主アンケートの評価が下がっているが、例えば、受講者に対して訓練修了直後ではなく、訓練修了後3ヶ月時点でアンケートを実施し、その内容を上司が評価するようなアンケート方法に変更するなど、受講者本人と事業主との評価結果に乖離が生じないアンケートの方法を検討していただきたい。

(生産性向上支援訓練について)

- ・ 企業から非常に関心の高い訓練であるため、コース数等を充実していただきたい。また、対象者が同様となる訓練を他団体でも実施しているため、情報共有やコラボで実施する等、集客力を高める取組を検討していただきたい。
- ・ 訓練の受講ニーズが高いことを踏まえ、もう少し予算を配分するとともに、実績に鑑み目標値の引き上げについて検討していただきたい。

(業務運営全般について)

- ・ J E E D全体として、施設内で実施する離職者訓練や在職者訓練と、外部委託である生産性向上支援訓練等との間でバランスの取れた事業運営を検討していただきたい。

令和8年度広島県独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
運営協議会委員

区 分	氏 名	所 属 及 び 職 名
学識経験者 (3名)	岡田 行正	広島修道大学 商学部教授
	中迫 正一	独立行政法人国立高等専門学校機構 呉工業高等専門学校 機械工学分野教授
	漆原 毅	株式会社中国新聞社 論説副主幹
労働者代表 (1名)	白井 秀治	日本労働組合総連合会広島県連合会 事務局長
中小企業等代表 (7名)	佐々木 慎二	広島県商工会議所連合会 事務局長
	長谷川 信男	広島県商工会連合会 専務理事
	蔵田 秀和	広島県中小企業団体中央会 専務理事
	後藤 学	福山商工会議所 専務理事
	桑原 立人	東友会協同組合 専務理事
	前田 清志	広島県電気工事工業組合 専務理事
	木村 康宏	広島県経営者協会 専務理事
行政機関 (4名)	中地 美友	広島労働局 職業安定部長
	木村 直美	広島労働局 雇用環境・均等室長
	高村 礼子	広島県商工労働局 職業能力開発課長
	固屋 美智子	広島市経済観光局 雇用推進課長

(順不同、敬称略)